

任意団体 中部壇商連合会

東海地域のびんリユース構築に向けたシステム再生・構築に向けた、検討と実践について

イベントの延べ参加者数	2,250人
イベント参加者の満足度	80%
活動の全体目標に対する達成度	60%



東海地域びんリユース推進協議会

◆成果と工夫したポイント

- 成果** びんリユースの実証実験に際し、酒造3社及び、外食事業者2店舗の協力を得られた。とりわけ、ネットワーク作りにおいては、学生をはじめ若い世代の参画が可能となった。
- 工夫** 若者世代の参画を実現するため、この地域で産官学とのネットワークを持つ主体との連携を重視し活動した。



課題

びんリユースは、びん製造事業者、中身充填事業者、卸、飲食店、一般市民、廃棄物処理を担う自治体の協力なしには実現が難しく、従来の取組みでは後退の一途を辿らざるを得ない。

活動内容

1. 東海地域びんリユース推進協議会（随時）および総会（1回）の開催
2. 地産地消をテーマとしたリユース（再使用）のビジネスモデルの確立
3. 2の効果の検証と、とりまとめ（報告書）
4. 東海地域における、日本酒に関わるステークホルダーとのネットワーク構築



なやばし夜イチ

今後の課題

持続可能なビジネスモデルにするには、協力していただける料飲店を増やし、点と点を線で繋ぎ、効率の良い回収ルートを構築する必要がある。今後の課題は、料飲店に対して推奨できるリユースびんの商品を増やすことである。